

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】



10周年を迎えた「宇宙の学校®」

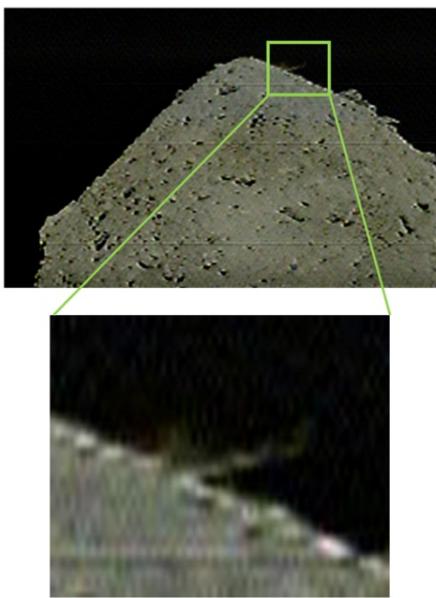
会長 並木道義

平成30年度は子ども・宇宙・未来の会が設立から10年を迎え、10周年記念事業としてKU-MA「おとなの宇宙の学校」～宇宙への大きな夢～を3回シリーズで開催いたしました。寒い時期の開催でしたが、たくさんの方にご参加いただき、講演とトークセッション、教材紹介と盛りだくさんのプログラム内容で楽しんでいただけたと思っております。この機会に会員になっていただいた方もおり、感謝申し上げます。ありがとうございました。(開催模様は次ページをご覧ください)

また、最終回終了後に、日ごろなかなか会えない会員同士の交流の場として懇親会を企画し、楽しいひと時を過ごしました。今後も、会員交流や会の活動への会員参画の機会を増してまいります。昨年2月にオープンしたJAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟の見学会と食堂でのランチ会(ランチ会は平日のみ)を3月半ばに企画し実施いたしました。見学会は会員とご家族も一緒に参加いただけます。ぜひ、一度いらしてください。

さらに新元号となる今年度は「宇宙の学校」が全国展開を始めて10年目の年となりました。始めた頃はわずか10か所の地域でしたが、近年では、毎年50を超える地域で開催しています。10周年を迎え、各地域の主催者の方々とこれまでの活動を振り返り、さらにこれからの中年、そしてその先の未来へつなぐための節目の年として、10周年記念事業を企画中です。

最後に「はやぶさ2」についてご紹介しましょう。今年、2月22日に「はやぶさ2」が地球から3億km離れた所でわずか1mの誤差で目的とした場所のタッチダウンに成功しました。4月5日には、高度約500mより衝突装置を投下し、リュウグウに人工クレーターを作る事にも成功し、順調にミッションを進めています。4月22日の週には製作したクレーターの確認降下を行い、5月にはそのクレーターの中にタッチダウンして新鮮な岩石を採取するという世界初の試みに挑戦していきます。



写真上「はやぶさ2」から分離された DCAM 3 (カメラ) が撮えた画像。

写真右下 SCI (衝突装置) が作動してリュウグウに衝突し、リュウグウ表面から噴出物の様子が確認できる。

撮影時刻：2019年4月5日11時36分（分離カメラ上の時刻・日本時間）

画像のクレジット：JAXA、神戸大、千葉工大、産業医科大学、高知大、愛知東邦大、会津大、東京理科大